

子どもたち 次の暮らしは

子どもたちは運動会「やり切った」感で、もしや…といった心配はまったく必要ありませんでした。グラウンドや体育館、そして中庭には休み時間を待ちわびていたかのような子どもたちの歓声があがっています。抜けるような秋空が広がる清々しさのお陰かも知れません。そして、音楽室からは「まっかだな まっかだな…」というこの時期にふさわしい歌声が響いてきます。子どもたちは、もう次の暮らしを創り始めているのですね。

5年生 稲刈りを終える



24日（火）、5年生の皆さんが稲刈りをしました。

「実るほど…」黄金色に頭を垂れた稲を次々と刈り取り、束ねて運んではプールフェンスにかけていきました。多くの子どもさんが田んぼ仕事のお手伝いをしていることもあるからでしょう。稲刈り鎌の扱いでけがをする心配もなく、手

際よく作業を進めていきました。

J A青年部の皆様からはアドヴァイス（檄・げき）をいただき、お米一粒も無駄にしない精神で、落ち穂拾いにもしっかり最後まで取り組みました。

「八十八の手間をかけないと…」という教えにあるように、これからもまだ多くの仕事をしないと、お米を味わうには至りません。でも、5年生の皆さんだからこそエネルギーに取り組み、きっとおいしいお米（お餅）を味わうことのできる日が来るのだろうなあ、とその日が待ち遠しいです。

北部吹奏楽祭 10/14 に向けて

5・6年生の皆さんの金管バンド練習に一層熱がこもってきました。

14日に迎える北部吹奏楽祭に向けて、新曲『宝島』を創りあげていく過程にわくわくさせてもらっています。かなり高度な演奏技術が必要な曲であることは、わたし



のような「素人さん」にも伝わってきます。しかし、子どもたちの演奏が日に日に変わってきてここ数日、音色がまとまってきたことが感じ取れます。これまでの練習の成果もちろん、5・6年生の技術や意欲の高さから、

それに見合った選曲を中島先生がされているのだと思います（この曲を演奏している『T-SQUARE』は、私らおじさん世代は、ど・はまりした魅力あるバンドでもあります）。ですので、子どもたちの力を信じてこの曲に出会わせた中島先生、そこにどのように応えていくか5・6年生！というところが、実はひとつの聴きどころではないかと、とても楽しみにしているわたしです。ラテンパーカッションがちりばめられて、のりのりの演奏になる気配たっぷりです。お家の皆様、ご都合許せばぜひ、14日に筑北中学校まで足をお運びください。当日は、麻績小学校がトップバッターでの演奏になります（9：40麻績小演奏開始）。

6年生 修学旅行に向けて

10月7・8日両日は、6年生にとって生涯の思い出となるであろう修学旅行です。全校のリーダーとして運動会を乗り切った6年生。続いて後期児童会がスタートしたので、その準備もあつたはず。さらに間近にせまる修学旅行に向けての事前学習や準備活動。それらの多くのことに、いったい時間をどう使って取り組んでいるのだろう、といつも考えます。6年生の皆さん、本当にがんばっていますね。

今年度の修学旅行の行程には、「JAL 機体整備工場」があります。「一生もの」の見学ポイントの一つであると思います。おそらくほとんどの子どもさんは、将来二度と訪れることのない場所となることでしょう。そして、この今の仲間と過ごす2日間のすべてが「一生もの」の財産です。ぜひ、多くを見て、聞いて、味わって、感じてきてほしいものです。準備、忙しいだろうけれど、今こそが「ときどきわくわく」なのでしょうね。

おわりに

子どもたちの新しい暮らしぶりをいくつか紹介してきました。ほかにも…

- 休み時間に中庭で一輪車乗りを楽しむ子どもたち。4年生4人が円を描いて手を繋ぎ、ぐるぐる回りながら乗る（サーカスのような）姿がありました。それを目にした2年生がまねを始めて、ついに3人で同じように成功！「子どもって本当にすごい」と思われる瞬間です。
- 麻績保育園の運動会に招待していただきました。フィナーレに親子で踊るダンスが『パプリカ』でした。曲が流れるとともに輪に加わり、「のりのり」で踊っていた1年生の女の子2人。誰よりもかっこよかったです。

運動会が終わっても、また更なる素敵な姿を見せてくれている麻績の子どもたちです。

